

2024年度 シラバス(授業内容)

昼間部 1 年 観光科 トラベル・アウトドアコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2024年度昼間部1年 観光科トラベル・アウトドアコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	6	8	2	3	19
	専門科目	20	25	16	13	74
合計		26	33	18	16	93

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15									
	キャリアデザイン I	講	2	30	キャリアデザイン II	講	5	75									
	ビジネスコミュニケーション I	講	1	15									ビジネスコミュニケーション II	講	1	26	
	パソコン I	演	1	15	パソコン II	演	1	15	パソコン III	演	1	26	パソコン IV	演	1	26	
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	26	Let's Speak English IV	演	1	26	
	小計		6	90	小計		8	120	小計		2	52	小計		3	78	
専門科目	国内観光資源 I	講	2	30	国内観光資源 II	講	2	30	国内観光資源 III	講	2	52	国内観光資源 IV	講	1	26	
	海外観光資源 I	講	2	30	海外観光資源 II	講	2	30	海外観光資源 III	講	2	52	海外観光資源 IV	講	1	26	
	時刻表実務 I	講	1	15	時刻表実務 II	講	1	15									
	国内管理者村実務 I (国内旅行実務)	講	2	30	国内管理者村実務 II (国内旅行実務)	講	2	30	国内管理者村実務 III (国内旅行実務)	講	2	52	観光素材研究	講	1	26	
	国内管理者村実務 II (乗法・約款)	講	1	15	国内管理者村実務 III (乗法・約款)	講	1	15	国内管理者村実務 IV (乗法・約款)	講	1	26					
	観光実務 I	演	2	30	観光実務 II	演	4	60	観光実務 III	演	1	26	観光実務 IV	演	1	26	
	添乗実務 I	演	2	30	添乗実務 II	演	2	30	韓国語/中国語 I	講	1	26	韓国語/中国語 II	講	1	26	
	観光プランニング I	演	1	15	観光プランニング II	演	2	30	社会人教養 I	講	1	26	社会人教養 II	講	1	26	
	観光業基礎(業界ガイド)	講	2	30	アウトドア実務 I	演	3	45	アウトドア実務 II	演	1	26	アウトドア実務 III	演	1	26	
	SNSプロモーション I	演	2	30	SNSプロモーション II	演	2	30	Web・動画作成 I	演	1	26	Web・動画作成 II	演	1	26	
	アマデウス I	演	2	30	アマデウス II	演	2	30	手話講座 I	演	1	26	手話講座 II	演	1	26	
	セールス演習	演	1	15	Travel/Guide English I	演	1	15	Travel/Guide English II	演	1	26	Travel/Guide English II	演	1	26	
					世界遺産	講	1	15	エクササイズ I	演	2	52	エクササイズ II	演	2	52	
									卒業制作 I	演	1	26	卒業制作 II	演	1	26	
		小計		20	300	小計		25	375	小計		16	416	小計		13	338
		1年前期 合計		26	390	1年後期 合計		33	495	2年前期 合計		18	468	2年後期 合計		16	416
		1年 合計			59	885	2年 合計			34	884	2年間 総合計			93	1,769	

行事・研修	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	オリエンテーション(校内) スポーツ大会	就職ガイダンス 中村学園祭	オリエンテーション スポーツ大会	中村学園祭

共通科目

シラバス(授業計画)

科目名	ホスピタリティⅠ・Ⅱ		科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	黒坂 明子			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	<p>ホスピタリティマインドとは「相手の立場に立って考え、相手を慮る心」です。 お客様に接客するうえで必要な知識やマナーの実践に、ホスピタリティマインドを活かせるようサポートします。 心理学の知見を応用し様々な角度から自分自身を振り返り、自己肯定感や行動変容の重要性を学びます。ワークを通して「気づき」を促しながら人間力を高め、気持ちよくおもてなしが発揮できるよう、ITHBの教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。</p>			
到達目標	<p>あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りから見られている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にできるようになる</p>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	ホスピタリティマインド養成ワークブック (株)ホロス人材開発研究所)			
授業計画	<p>【ホスピタリティの理解 「プラスの視点」の重要性】 ・ホスピタリティとは・・・ ・他己紹介による自分表現 ・マイナス思考とプラス思考 ・マイナス思考に陥った場合の対処行動</p> <p>【ホスピタリティマインドの確立】 ・他者理解・他者受容 ・価値観とは？・グループ討議 ・自分の物の見方や考え方を知る ・相手を受け入れることの重要性</p> <p>【ホスピタリティマインドの発揮 豊かな触れ合いのために・・・】 ・ストローク(触れ合い)の理解 ・ストローク演習・DVD観賞 ・自画像と他画像の違い・他者からの自分のイメージを知る ・気づきと自己改善の勧め</p> <p>【ホスピタリティサービスの本質】 ・モノ的なサービスとヒト的なサービス・CSと顧客心理 ・ホスピタリティ産業について ・ディズニーにおけるおもてなし ・「おもてなしの心」を「形」に・・・</p>			
成績評価 方法	試験、授業態度、出席日数 (下記評価基準に基づく)			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

社会人になる前の貴重な学生生活が始まります。
 新たな友人との出会いと、様々なことへのチャレンジを通して、自分を今より素敵に変えてみませんか？

シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザイン I・II			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：5単位	時間数	前期：30時間 後期：75時間
担当	就職担当				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	<p>専門学校への入学は、就職を前提とした各人の進路を見出すことが大きな意義です。就職をする上で最も重要なことは自分を知ることです。当授業では、職業人としての心構えを身に付け、ツールを使用した自己分析を行い、自分の強みや他者理解について学びます。</p> <p>就職活動開始までに必要な事項を学び、演習を通じて就職活動本番で結果を出せるよう自信をつける授業です。就職活動は各自の目指す業界、企業により開始時期が異なるため、授業をベースとしながら個々の進行に応じて個別にバックアップし、内定に向けたサポートを行います。</p>				
到達目標	<p>1、社会人へのステップに繋がる職業人としての基礎知識とマインドを身につける。</p> <p>2、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ自分の強みについて知る。</p> <p>3、就職活動の基本的な考え方を理解し、実践に備える。</p> <p>4、内定を勝ち取るための準備を進め、就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。</p>				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	<p>「LIFO テキスト」(株ビーコンラーニングサービス)</p> <p>「個人レポート」(株ビーコンラーニングサービス)</p> <p>「質問紙」(株ビーコンラーニングサービス)</p> <p>専門学校生のための就職内定基本テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)</p>				
授業計画	<p>【職業とキャリア】</p> <p>人はなぜ働くのか？仕事と職業、職業の三要素、働くことの意義と目的</p> <p>職業の形態と種類、職業選択と自分がめざす生き方、職業人としてのマインド、生活の自立と自律、最近の社会事情</p> <p>【自己理解】</p> <p>LIFOの基本的考え方の理解、コミュニケーションと自己理解の関係、自己理解3つの方法、自己点検実施と発表、ライフライン記入、自己分析シート記入、LIFO(ライフオ)質問紙記入と採点、4つのスタイルの具体的理解、診断分析、個人レポート作成、自分の強みの整理、自己分析シート(強みの過剰使用)への落とし込み、4つのスタイルとアプローチ、失敗経験と分析、自分のスタイルと他者スタイルの理解</p> <p>【就職活動実践】</p> <p>就活の流れ、就活サイト登録と使用方法</p> <p>求人票の見方、雇用形態、社会保険、年金制度</p> <p>自己分析、他己分析</p> <p>自己PR作成、履歴書・ES作成ポイント、企業研究、志望動機対策</p> <p>面接演習、GPワーク試験対策、小論文演習、SPI対策と模擬試験演習、企業セミナー</p>				
成績評価 方法	<p>期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。</p>				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーション I			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	井部・橋本・担当講師				
	実務経験 : 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				
授業概要	目的: 観光業界の社会人として最低限のビジネスマナーを理解・実行できる事。 概要: ビジネスシーンで誰もが当たり前に行動している挨拶や言葉遣い、接遇を学びます。				
到達目標	1 年次夏休みの実習や後期から開始される就活で、自信をもって行動できるようになる。				
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: 秘書検定				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社				
授業計画	<p>【挨拶と人間関係】 挨拶の重要性 第一印象の重要性 相手に良い印象を与えるコツ</p> <p>【社会人心得】 自己管理・4つのポイント 社会人としてのルール 報告・連絡・相談</p> <p>【敬語を使いましょう】 敬語の種類 正しい敬語の使い方 接遇用語の表現 接遇の立ち振る舞い(受付、名刺の受け取り方)</p> <p>【実践！ビジネスコミュニケーション】 上手な聞き方、話し方 命令・指示、忠告・注意の受け方 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方 領収書の記入方法</p>				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	パソコン I・II		科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数 前期：15 時間 後期：15 時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	パソコンスクールにてインストラクターとして実務経験あり		
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word・Excel の基本操作を修得します。			
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word・Excel を使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。 また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定・Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験・PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験			
教科書 教材	・「30 時間アカデミック情報リテラシー Office2016 」(実教出版) ・ USB メモリ			
授業計画	<p>【 PC 基本操作の確認 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーションの立ち上げや、基本的なファイル操作 ・ホームポジションを意識したタッチタイピングの練習 <p>【 Word 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章入力(ベタ打ち)と併せて、文字装飾を行う ・ワードアート、図形描画、テキストボックス等を利用し、表現力のある文書ファイルを作成する ・ビジネス文書の基礎と仕組みを学び、挨拶文の挿入、入力オートフォーマット、表作成等を使いこなす <p>【 Excel 基本作業 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力の基礎を学ぶ ・数式を用いた計算をはじめ、基本的な関数を利用した表計算機能を使いデータファイルを作成する ・関数を利用して作成したデータをグラフへ変換し、視覚的分析の方法を学ぶ 			
成績評価 方法	※授業への参加度や授業態度などを加味して、平常点は 20 点満点とする。(上記評価点数に組み込まれる) ※Word・Excel 共に、文書ファイル作成を課題として提出する。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、課題提出、平常点 15 点以上優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 10 点以上良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5 点以上可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5 点未満不可			

学生へのメッセージ

現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです。さまざまな企業で日常的にパソコンを使用して業務を行います。「スマートフォンの方が使いやすい」「スマートフォンなら文字を早く打てる」という意見もありますが、就職してから戸惑わないよう、前向きに学習してみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English I・II			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	<p>【New Friends】 Greetings, self-introductions, asking for personal information.</p> <p>【Interests】 Music, movies, time, sports.</p> <p>【People】 Family, personality, clothes.</p> <p>【Daily Life】 Routines, sequences, be -ing.</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)49%以下、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!
Use this great chance to practice speaking as much as possible in a small group.

トラベル・アウトドアコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	国内観光資源 I・II		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	松川 信也			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。		
授業概要	日本全国の観光資源、郷土文化をテーマ別、季節別に学び、国内旅行の実務を行う上で必要となる知識を幅広く学ぶ。			
到達目標	国内観光地理の全国的・横断的な観点での学習を行い、将来仕事の上で役立つ知識を身につけて他人に説明できるようにする。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称： 日本・旅行地理検定			
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 総研) 3,500円(税込) 「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院) 2,640円(税込)			
授業計画	<p>1. 2024年国内旅行の動向 講師が独自の観点で考察した国内旅行の最新動向をプレゼンテーションする。</p> <p>2. 日本の美しい風景 まず日本人として知っておくべき主要観光資源の美しさを体感しながら学習する。</p> <p>3. 日本の世界遺産 現在日本にある25か所の世界遺産の特徴と魅力を学習する。</p> <p>4. ジャンル別主要観光資源学習<自然景観> ①国立公園 ②湖沼 ③山岳・高原 ④海岸・岬</p> <p>5. ジャンル別主要観光資源学習<文化> ①神社仏閣 ②温泉 ③祭 ④郷土料理</p>			
成績評価 方法	各パート終了ごとに小テスト実施し、平常点としてカウントする。欠席の場合は0点扱いとなるので注意。期末評価試験も実施し、期末試験、出席率、平常点の総合評価とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B: 評価試験 60点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C: 評価試験 40点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点以上 D: 評価試験 40点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可			

学生へのメッセージ

国内旅行の“王道”としての重要観光地ばかり、実務上役に立つ国内観光トピックスを取り上げます。楽しく学習しながら知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	海外観光資源Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり		
授業概要	<p>この科目では、日本からの渡航者が多い世界の国と地域、観光資源について、広く浅く学びます。 Ⅰでは概論、Ⅱおよび2年次のⅢでは各論を中心に進めます。 購入教材のほか、適宜プリントや旅行会社のパンフレットを使用します。 ※なお、世界旅行地理検定および総合旅行業務取扱管理者の合格を最終目標とする授業ではありません。 合格には別途学習が必要です。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人が多く訪れる世界の主要国の概要（位置、国名、首都など）が把握できる。 ・世界の地理に興味を持てる。 			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	海外観光資源（JTB 総研） 旅に出たくなる地図 世界（帝国書院）			
授業計画	<p>【 地図の把握 】 投影法の理解 / 緯度経度(気候や時差)の理解 / 大陸と地域</p> <p>【 概論 】 アジア / 中東 / ヨーロッパ / アフリカ / オセアニア / 北中南米 / 宗教の基礎 小テストを実施する</p> <p>【 各論 】 アジア (韓国 / 中国本土 / 香港・マカオ / 台湾 / ベトナム / カンボジア / タイ / マレーシア / シンガポール / インドネシア / インド / ネパール / その他)</p> <p>中東 (トルコ)</p> <p>ヨーロッパ (英国 / フランス / スペイン)</p> <p>【 期末試験と解説 】 期末試験 / 解説</p> <p>履修内容・順番は変更される場合があります。</p>			
成績評価 方法	理解度、出席率、平常点(授業態度、意欲)			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率80%以上、かつ平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、または出席率60%未満、または平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

職業として旅行を扱うには、当然ながら世界の地理についての基本的な知識は必須です。
世界は広い！そして面白い！机の上で、一緒に世界の旅に出ましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	時刻表実務Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	中山 健也			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	鉄道業界にて駅務・車掌として実務経験あり。		
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の基本的な使用方法を習得していきます。初めて時刻表に触れる学生が多いと思いますが、心配することはありません。初めて学習する学生が理解できるように、基礎的な問題から順序立てて、進めていきます。ただ、ここで学んだことを後期、2年次前期と引き継いで、最終的には業務従事者のレベルまで引き上げていきますので、油断することなく、身につけていってください。			
到達目標	業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称:国内旅行業務取扱管理者			
教科書 教材	「JR時刻表」(交通新聞社)			
授業計画	<p>【時刻表の構成】 INDEX 索引地図の見方・使用法について</p> <p>【時刻表の基本的使用方法】 JR列車時刻の調べ方 列車の乗り継ぎ 車両編成・席番配置図 運賃料金の算出(基本・早見表) 会社線・国内・国際航空・高速バス・フェリーの引き方</p> <p>【時刻表の実践的な技術習得】 総合演習問題による実践的な学習 ・索引地図、列車時刻、会社線 ・特急列車、乗継割引、その他サービス</p> <p>【時刻表のより実践的な技術習得】 乗継早見表と運賃料金早見表の実務的技術習得 ・新幹線と在来線 ・通常期・繁忙期・閑散期 ・普通車指定席・自由席・グリーン車</p>			
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 授業理解度90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 70%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

時刻表の使い方を学び、お客さまへ素早く適切な提案ができるようになります。

シラバス(授業計画)

科目名	国内管理者対策Ⅰ・Ⅲ(国内旅行実務)			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	担当講師				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	旅行会社にて国内海外実務の経験あり。			
授業概要	JR・貸切バス・フェリー運送・宿泊機関の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。 授業内では国内旅行実務に沿ったJR運賃料金の計算などの基礎内容を学習しつつ、過去の問題やプリントで確認していきます。また、毎年間違えやすい問題や勘違いしやすい内容を繰り返し学習し本番までに問題に慣れていきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	なし・必修・ <u>任意</u> 名称:国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書 教材	「JR時刻表」(交通新聞社) 「国内運賃・料金」(JTB総研)				
授業計画	<p>【JR運賃の基本原則】 JR各社について 幹線と地方交通線について 運賃の異なる会社間について 通過連絡運輸、連続運賃について</p> <p>【JR運賃計算の特例】【各種割引運賃】 特定区間、特定都市発着の運賃について 往復割引、学生割引について 団体割引運賃について</p> <p>【JR料金システム】 JR料金の基本的な考え方について 新幹線の特急料金について・在来線の特急料金について 特急料金の変動について 山形・秋田新幹線の料金について</p> <p>【その他のJR営業規則】 有効期間、払い戻し手数料について</p> <p>【その他業種の各種運賃料金】 貸し切りバス運賃料金について フェリー運賃料金について 宿泊料金について</p>				
成績評価 方法	授業内で小テスト実施、授業理解度は全ての小テストと評価試験を総合評価で判断 出席率、授業参加意欲も評価する				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	国内管理者対策講座Ⅱ・Ⅳ(業法・約款)			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	立石 智之				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	「旅行業法」は旅行会社とお客様との間にトラブルがないよう国と旅行会社の間で定められた『法律』です。「旅行業約款」は旅行会社とお客様と旅行を契約する上での『約束事』です。どちらも具体例をあげながら“旅行業界のルール”を楽しく学習し、過去問を解いて次年度必修で受験する予定の国家試験対策を行います。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称:国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	「旅行業法及びこれに基づく命令、」(JTB総研) 「旅行業約款、各種運送約款・料金」(JTB総研)				
授業計画	<p>【旅行業の目的・定義・種別、登録の申請・拒否】 法令とは？旅行業法の目的、旅行業の定義、旅行業の除外規定 旅行の種類、旅行業法の種別と業務の範囲 他</p> <p>【旅行業の有効期限・営業保証金、料金揭示や約款、取引条件等】 旅行業の有効期限、旅行業の事業の開始時期、営業保証金額、追加供託 旅行業務取扱管理者の選任、職務、外務員証 旅行取扱料金の揭示、旅行業約款の認可、契約条件説明、契約書面について 他</p> <p>【旅行業約款の定義】【募集型企画旅行の定義・契約の締結・書面・契約内容の変更】 標準旅行業約款、標準旅行業約款の構成 適用範囲、特約、用語の定義、手配代行者、通信契約 契約の申込み、拒否事項、契約書面と確定書面の流れ、確定書面の交付期限 他</p> <p>【募集型企画旅行の契約の解除・団体・グループ・旅程管理・損害賠償・旅程保証】 旅行者の解除権、旅行者の解除権、払い戻し、団体・グループ契約、契約責任者 旅程管理、旅行者の指示、添乗員等の業務、旅行者の責任、旅行者の責任 旅程保証、保証対象外の事由、変更補償金の支払い 他</p> <p>【募集型企画旅行の特別保証規定、受注型企画旅行契約の部、手配旅行契約の部、通信契約関連】 参加中の定義、種類と補償額、特別補償の対象外、定義、流れ、契約締結の拒否、解除、変更 契約の主体、定義、手配債務の終了、拒否、解除、変更、通信契約、契約の成立、支払い、契約書面等</p>				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	観光実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期 後期	単位数	前期：2単位 後期：4単位	時間数	前期：30時間 後期：60時間
担当	前期:立石 智之 後期:仲矢・室田				
	実務経験：有・無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	観光業界において必要な、様々な知識を養う。 レジャーや各地の特産などを勉強したうえで、どのように提供するかを考える。 また、業界視察や職場を確認し、将来の進路選択に役立てる。				
到達目標	自信をもって人に観光資源(歴史・生活・文化・食事など)を紹介できるようにする。				
検定資格	なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	適宜プリントを使用する				
授業計画	<p>【千葉の観光について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロツーリズムの一環として、地元千葉市、千葉県についての学習を行う。 ・地域における観光の要素を学び発信することを体験する ・地元企業・自治体との連携を行い、観光集客を体験的に学ぶ。 <p>【知識の習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ:国内・海外のさまざまなクルーズ船についてどのような違いがあるかを学ぶ ・レンタカー:車の基本的な種類を覚える。また、保険などのカバーされるものなどについて学ぶ ・食事:国内・海外の観光地での名物料理について学ぶ <p>【旅行会社における業務の習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットラックの設置、作成 ・観光素材ボードの作成 ・観光地におけるガイド案内の理解 <p>学んだ上記について旅行パンフレットやインターネットの商品から各素材について、掘り下げて学ぶ</p> <p>【外部授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各観光局や旅行会社の方々から、観光業界の現状や仕事の内容、自治体とのつながりを踏まえながら、町おこしイベントや着地型観光誘致事業を学ぶ。 				
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点のにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度プレゼン評価 80点以上、出席率90%以上、平常点優 B: 授業理解度プレゼン評価 60点以上、出席率80%以上、平常点良 C: 授業理解度プレゼン評価 40点以上、出席率60%以上、平常点可 D: 授業理解度プレゼン評価 40点未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	添乗実務Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	株式会社旅行総研講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	旅行業界にて添乗員実務経験あり。		
授業概要	<p>【前期;国内】アクシデントやイレギュラーな事態が起こった時などにスムーズに現地に対応するには、まず業務の基本を理解し頭に入れておくことが必要です。ツアーコンダクターとして行すべき業務はもちろん、それがなぜ必要な業務なのか意味を理解しながら学びます。</p> <p>【後期;海外】前期で学んだ国内添乗業務から、海外へ仕事の舞台を広げていくうえで必要となる様々な基礎知識の習得と基本業務の流れを学びます。</p> <p>海外添乗においては、言葉や文化の違いから、よりお客様に寄り添った接客が必要となります。国内旅行とは異なるツアーコンダクターに対する要望や期待に応えられるよう、幅広い知識の習得に努めます。</p>			
到達目標	国内、海外ツアーコンダクターとしての業務知識の習得と基本的な業務の流れを理解する。			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：国内旅程管理主任者資格			
教科書 教材	旅程管理研修教本(日本添乗サービス協会)			
授業計画	<p>添乗業務Ⅰ 【国内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添乗員の役割とお客様に対する接遇 ・業界用語を覚える ・クーポン券の種類 ・関係機関への予約確認とお客様への事前確認 ・バス席表の作成 ・集合場所スタンバイと受付 ・バス車内のご案内 ・人員点呼の重要性 ・食事場所や観光地での誘導 ・オプション・車内販売の方法 ・宿泊業務について ・JR業務の流れ ・AIR業務の流れ ・精算書作成の仕方 ・ツアー報告書の作成と重要性 	<p>添乗業務Ⅱ 【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外添乗と国内添乗の違い(旅券と査証) ・業界用語を覚える(2レター、3レター) ・事前準備(下調べと資料作成) ・海外一般情報(CIQ、通貨、チップ、時差、気候、度量衡) ・英文アイティナリーの読み方 ・打ち合わせ業務 (受け取るべき書類とそれぞれの確認と対客電話) ・添乗業務 (スタンバイ～受付業務～出国～搭乗～機内) (現地到着～乗り継ぎと現地入国) (宿泊、食事、観光)(自由行動とオプションツアー) ・いろいろな乗り物(バス旅、列車、船) ・トラブル処理(海外旅行保険) ・帰国(帰国準備、海外での免税手続き、出国) ・日本到着(検疫、入国、税関) ・清算と報告(アンケートと個人情報) ・成田空港 見学研修 		
成績評価 方法	【国内・海外共通】小テストと期末テストによる筆記試験と出席率と平常点の総合評価。			
成績評価 基準	<p>A: 授業内評価試験 80点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業内評価試験 60点以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 授業内評価試験 40点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業内評価試験 40点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

ツアーコンダクターの仕事は裏方仕事でお客様からはなかなか見えにくい業務ですが、大事な業務を担っています。この授業でどのような業務を行っているかぜひ学んでください。

シラバス(授業計画)

科目名	観光プランニング I・II		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：2単位	時間数 前期：15時間 後期：30時間
担当	立石 智之			
	実務経験：有・無	立石：旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。		
授業概要	<p>昨今の観光とは、ただ「旅行に行く」だけではなくなっています。 お客様毎に達成したい目的を観光業に携わる観点から考察し「どのようにしたらお客様に喜んでもらえるか」「どうすればお客様に選ばれるか」を考えながら様々なイベントを企画します。 また各観光地を題材にしたイベント等にも参加し、お客様から見た視点を養い、改善点や問題点を見つけどのようにすれば改善できるかをグループワークを用いて学習します。</p>			
到達目標	<p>プランニングの基礎を用いて、自分達の旅行計画や他の人に向けての計画を作成する 実際に各地のイベントを参考にしながら新しいイベントの企画立案や企画書の作成を行い グループワークを中心としながら、様々な視野を持ってお客様に対応できるよう学習する</p>			
検定資格	なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>授業の概要説明と進め方 テーマ作成に当たっての注意 ツアープランニングの補足説明、ツアー作成のポイント説明 グループ分け、ツアーテーマ仮決定、意見交換会議 打合せ内容を基にツアーテーマの最終決定 決定したツアーテーマでの行程表作成 各グループのプレゼン内容の検討、再構成 パワーポイントの作成、企画発表準備 プレゼンシミュレーション、資料作成</p> <p>各グループに分かれてイベントを体験・作成することにより問題点を意見しあう。 また実際に各地のイベントに参加し、事前の問題点に改善があるのか考察すると共に新しい発見を見つける。 グループ内で、意見をだしあい資料を作成。</p> <p>発表用パワーポイント作成と、シナリオ作成</p>			
成績評価 方法	期末試験・プレゼン評価等を対象として、出席率、平常点の総合点数にて評価する			
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度プレゼン評価 80点以上、出席率90%以上、平常点優 B: 授業理解度プレゼン評価 60点以上、出席率80%以上、平常点良 C: 授業理解度プレゼン評価 40点以上、出席率60%以上、平常点可 D: 授業理解度プレゼン評価 40点未満、出席率60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	観光業基礎(業界ガイド)		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース		授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	前期：2単位	時間数
担当	立石 智之			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。		
授業概要	将来、観光業界で働きたいと希望している学生に対し、観光業界ってどのような仕事があるのか？どのような会社があるのか？を学んでいただきます。特に1年生後期から就職活動がスタートしますので実際の就職活動を見据え、“幅広い業界知識”を身に付けます。 お客様に一生に一度の「感動」を約束する仕事、それが観光業です。 夢に向かって業界について学んでいきましょう。			
到達目標	後期の授業：観光実務や就職活動に向けて、実際の企業や求人を確認しながら将来を決めていく準備を行い、より自分に合った就職先・業界を見つけてもらう手助けをします。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	なし(別途プリント等を用意)			
授業計画	<p>【観光業界を知る！】 授業の目的を確認した上で、観光業界全体像を把握し各業界との結びつきや関係性を理解してもらう。</p> <p>【仕事・会社の種類を知る！】 各業界の職種、主な業務内容を把握し会社名や各会社の特徴を捉えて目指す会社を決めるための知識を得てもらいます。 また各業界の卒業生を呼んで、現在行っている職種や会社の事を聴く機会を設けます。</p> <p>【業界を学ぶ！】 各業界の視察等を入れ、実際の職場に触れ合い業務を学ぶ。</p> <p>【業界調査を行う！】 各分野に分かれてHPや店舗・施設を見学し、お客様としての視点や業界を目指す学生としての視点を交えながらグループで分かれて調査内容を報告してもらいます。他のグループでも気になった箇所があれば、後々自分自身で調べる事も出来ます。</p>			
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点において基準を満たすものを評価とする。			
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 授業理解度 50%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 授業理解度 50%未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

	SNS プロモーション I・II		科目区分	専門科目																																
対象	観光科トラベル・アウトドアコース		授業形式	演習																																
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間																																
担当	間野 圭子																																			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	地域活性化団体に所属しながら、企業や自治体との業務を行っている。																																		
授業概要	SNS を活用し、観光プロモーションの創り出し方を学ぶ。主に Instagram を実際に運用しながら、効果的なプロモーションについて実践的な経験を習得する。各 SNS の運用をはじめ、プロモーション全体として戦略的なアプローチ方法を学ぶ。																																			
到達目標	基本的な Instagram の運用ができるようになる。プロモーションの意味を理解し、その手段として SNS を使うことができる。Instagram を使った効果的なプロモーションを企画運用できる。SNS ごとの特徴を活かし、総合的にプロモーションできるようになる																																			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:																																			
教科書 教材	なし																																			
授業計画	<p>前期</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1: SNS とは 世の中の SNS</td> <td style="width: 50%;">2: 世代別、ビジネスでの SNS</td> </tr> <tr> <td>3: Instagram アカウントの作り方～基本機能</td> <td>4: Instagram 基本機能②</td> </tr> <tr> <td>5: デザインの重要性</td> <td>6: デザインの基本</td> </tr> <tr> <td>7: 写真の撮り方①</td> <td>8: 写真の撮り方②</td> </tr> <tr> <td>9: 掲載文の作り方</td> <td>10: ハッシュタグ、キャッチコピー</td> </tr> <tr> <td>11: 動画の撮影①</td> <td>12: 動画の撮影②</td> </tr> <tr> <td>13: ストーリーズ・リールの作り方</td> <td>14: 効果的な連続投稿</td> </tr> <tr> <td>15: プロフェッショナルダッシュボード</td> <td></td> </tr> </table> <p>後期</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1: Instagram の広告①</td> <td style="width: 50%;">2: Instagram の広告②</td> </tr> <tr> <td>3: プロフィールの役割</td> <td>4: 見てもらえるプロフィール</td> </tr> <tr> <td>5: 投稿の種類</td> <td>6: 質の高い投稿とは</td> </tr> <tr> <td>7: リールの役割</td> <td>8: リールでリーチ数を伸ばす</td> </tr> <tr> <td>9: 「今」を伝える SNS</td> <td>10: ダッシュボード分析①</td> </tr> <tr> <td>11: ダッシュボード分析①</td> <td>12: SNS 連携プロモーション①</td> </tr> <tr> <td>13: SNS 連携プロモーション②</td> <td>14: SNS のメリット</td> </tr> <tr> <td>15: SNS のデメリット</td> <td></td> </tr> </table>				1: SNS とは 世の中の SNS	2: 世代別、ビジネスでの SNS	3: Instagram アカウントの作り方～基本機能	4: Instagram 基本機能②	5: デザインの重要性	6: デザインの基本	7: 写真の撮り方①	8: 写真の撮り方②	9: 掲載文の作り方	10: ハッシュタグ、キャッチコピー	11: 動画の撮影①	12: 動画の撮影②	13: ストーリーズ・リールの作り方	14: 効果的な連続投稿	15: プロフェッショナルダッシュボード		1: Instagram の広告①	2: Instagram の広告②	3: プロフィールの役割	4: 見てもらえるプロフィール	5: 投稿の種類	6: 質の高い投稿とは	7: リールの役割	8: リールでリーチ数を伸ばす	9: 「今」を伝える SNS	10: ダッシュボード分析①	11: ダッシュボード分析①	12: SNS 連携プロモーション①	13: SNS 連携プロモーション②	14: SNS のメリット	15: SNS のデメリット	
1: SNS とは 世の中の SNS	2: 世代別、ビジネスでの SNS																																			
3: Instagram アカウントの作り方～基本機能	4: Instagram 基本機能②																																			
5: デザインの重要性	6: デザインの基本																																			
7: 写真の撮り方①	8: 写真の撮り方②																																			
9: 掲載文の作り方	10: ハッシュタグ、キャッチコピー																																			
11: 動画の撮影①	12: 動画の撮影②																																			
13: ストーリーズ・リールの作り方	14: 効果的な連続投稿																																			
15: プロフェッショナルダッシュボード																																				
1: Instagram の広告①	2: Instagram の広告②																																			
3: プロフィールの役割	4: 見てもらえるプロフィール																																			
5: 投稿の種類	6: 質の高い投稿とは																																			
7: リールの役割	8: リールでリーチ数を伸ばす																																			
9: 「今」を伝える SNS	10: ダッシュボード分析①																																			
11: ダッシュボード分析①	12: SNS 連携プロモーション①																																			
13: SNS 連携プロモーション②	14: SNS のメリット																																			
15: SNS のデメリット																																				
成績評価 方法	授業は SNS を具体的に触りながら行う。学期末には評価試験を行う。各個人、およびグループでの制作物や評価試験を総合評価で判断する。 成果物の提出無し及び評価試験を欠席した場合は、0点として取り扱う。出席状況、授業参加意欲も評価される。																																			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率60%未満、平常点 不可</p>																																			

学生へのメッセージ

個人でも楽しめる SNS ですが、広告の中には各種様々な仕掛けがされています。その仕掛けを紐解き、自ら仕掛けていく授業をおこないます。

シラバス(授業計画)

科目名	アマデウス I・II		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース		授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	立石 智之			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。		
授業概要	航空・旅行業界の予約手配において、先進の IT 技術は欠かせません。とりわけアマデウスは GDS (Global Distribution System) として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどの旅行素材を手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約システム基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目標とします。			
到達目標	アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格の取得。			
検定資格	なし ・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 任意 名称: アマデウスシステム検定 Specialist			
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド アマデウス予約クイックガイド			
授業計画	<p>【情報検索】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GDS、アマデウスシステムの基礎知識を習得する ・都市・空港・国・通貨・航空会社コードの検索方法を理解・習得する <p>【空席照会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空席照会とそのオプションを理解・習得する ・ダイレクトアクセスの入力方法及び表示内容を理解する ・フライトスケジュール・タイムテーブル照会の入力方法及び表示内容を理解・習得する <p>【フライト予約】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空席照会画面からのフライト予約方法及びステータスコードを理解・習得する ・乗継ぎ便・2 区間の予約方法を理解・習得する ・オープンセグメント・情報セグメント(ARNK)等を理解・習得する <p>【予約記録作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PNR作成の流れを理解・習得する ・名前を入力(単数・複数等)方法の理解・習得 ・SSRなどの入力理解・習得する ・旅程の取り消し、修正・変更・削除ができるようにする <p>【検定対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去問を使用した総合練習問題への取り組み 			
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席率、平常点において基準を満たすものを評価とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

「アマデウス」授業では、Web システムを使用して授業を行うので、キーボード入力速度の速さも必要です。日頃から入力練習をしっかりとっておいてください。

シラバス(授業計画)

科目名	セールス演習			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	1年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：15時間
担当	立石 智之				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	接客業をする上で必要な要素を学びます。観光・旅行業での販売を例にとり、お客様への聞き取り内容や聞き出し方などを学んだうえで、お客様の要望をどのようにして実現するかを実戦形式で学んでいきます。				
到達目標	お客様と対面した際に必要なスキル及び接客用語について理解できる。 他者の要望を聞き出し、また自身が欲しい情報をどのように聞き出すかを体得する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(適宜、必要に応じてプリント・データを使用する)				
授業計画	<p>1.接客をする上で心掛けること →心構え、身だしなみ、言葉遣いなど基本所作の確認 →接客するうえでの質問・疑問の解消</p> <p>2.接客での注意点・ →他の人からどのようにして見られるのか →お互いに対面した際の気付き、注意点などの確認</p> <p>3.お客様から要望を聞き出す →目的・方法の確認 →聞き出し方、質問の仕方によつての返答の変化</p> <p>4.実際に対客を想定してみる →理解した内容を実践できるか？ →相手は理解してもらえているかの確認</p> <p>5.まとめ</p>				
成績評価 方法	平常点・期末評価試験を実施し、期末試験、出席率、平常点の総合評価とする。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点優 B: 授業理解度 60%以上、かつ出席率 60%以上、かつ平常点良 C: 授業理解度 40%以上、かつ出席率 60%以上、かつ平常点可 D: 授業理解度 40%未満、または出席率 60%未満、または平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	アウトドア実務 I			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期：3単位	時間数	後期：45時間
担当	担当講師				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	アウトドア企業にて実務経験あり			
授業概要	<p>業界の中でもアウトドア要素は観光の目的の一つになっています。一般的には、登山やキャンプなど野外でのアクティビティが中心となっていますが、その中でも近年注目されているグランピングを中心に学んでいきます。</p> <p>この授業では、快適なアウトドア滞在を提供するための施設、サービス、デザインの考え方について学ぶことができます。また、環境への配慮や持続可能性についても学ぶことができます。さまざまな要素を組み合わせ、参加者がグランピング体験を計画し、提供するための知識とスキルを身につけることが目的となっています。実践的なスキルや知識の習得を目指しましょう。</p>				
到達目標	<p>アウトドアやアドベンチャーツーリズムなどの体験型観光の現状、また日本が推進する制度や取組を把握・理解し、どのような課題があるのか、自ら考えることができるようになる。さらに、千葉というアウトドアに恵まれた環境を生かした「基礎分野」「関連知識」を得ることを目指す。</p>				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・必修・任意 名称:				
教科書教材	楽しむ！極める！ キャンプ完全ガイド(西東社)				
授業計画	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グランピングの魅力 ・キャンプとの違い ・グランピング市場規模と傾向・コンセプト ・事業計画・周辺地域の活性化・施設レイアウト ・業務オペレーション・集客方法など ・安全について(衛生・事故・怪我に対するリスク) <p>【実務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊業務・料飲業務 ・アウトドア用品の利用方法と扱い(テント設営、焚火台などの器具詳細) ・アクティビティデザイン(オリエンテーション・アイスブレイク・企画設定) ・アクティビティ実施(各種フィールドを利用して実施) 				
成績評価方法	平常点・期末評価試験を実施し、期末試験、出席率、平常点の総合評価とする。				
成績評価基準	<p>A: 授業理解度 80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点優</p> <p>B: 授業理解度 60%以上、かつ出席率 60%以上、かつ平常点良</p> <p>C: 授業理解度 40%以上、かつ出席率 60%以上、かつ平常点可</p> <p>D: 授業理解度 40%未満、または出席率 60%未満、または平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	Travel/ Guide English I		科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース		授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数
担当	Native teacher			
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	Students will practice learned English vocabulary and skills via role playing and speaking with native teachers			
到達目標	Improving English skills with regard to traveling and become confident in speaking English with native speakers.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Travel/ Guide English (original text)			
授業計画	<p>【Airport conversation】 Baggage claim problems ➤ Travel problems ➤ Lost and found</p> <p>【Hotel conversation】 ➤ Confirming arrival/ explaining delays ➤ Hotel check-in ➤ Schedule explanation ➤ Time expressions: digital and analogue ➤ Asking for and giving directions ➤ Detailed restaurant reservations ➤ Registration questions and answers</p> <p>➤ Oral test revision</p>			
成績評価 方法	Test (written and oral), attendance, classroom attitude and effort.			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 65 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	世界遺産			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベル・アウトドアコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	松川 信也				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	元旅行添乗員。旅行コンサルティング会社経営。総合旅行業務取扱管理者。			
授業概要	世界遺産もすでに全世界で1100を超える数となったが、改めて「世界遺産」という概念が生まれた経緯を理解し、世界の第一級の有名な世界遺産の魅力を学習する。				
到達目標	「世界遺産」という概念の誕生経緯を理解し説明できるようになる。 及び海外の第一級主要世界遺産(約50か所)についても、魅力を理解し他人に紹介することができるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称： 世界遺産検定4級・3級				
教科書 教材	「きほんを学ぶ世界遺産100(世界遺産検定3級公式テキスト)」 世界遺産検定事務局				
授業計画	<p>1. 世界遺産とは</p> <p style="padding-left: 40px;">発生した経緯、世界遺産の種類など</p> <p>2. 海外の第一級世界遺産概略学習(1)</p> <p style="padding-left: 40px;">日本の世界遺産(25か所)との類似性のある海外世界遺産の学習。</p> <p>3. 海外の第一級世界遺産概略学習(2)</p> <p style="padding-left: 40px;">他の海外の有名世界遺産(約50か所)を、地域別および種類別に学習</p> <p style="padding-left: 40px;">※小テストを随時行い、知識の定着を図る。</p>				
成績評価 方法	各パート終了に小テスト実施し、平常点としてカウントする。欠席の場合は0点扱いとなるので注意。 期末評価試験を実施し、期末試験、出席率、平常点の総合評価とする。				
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度 80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点優</p> <p>B: 授業理解度 60%以上、かつ出席率 60%以上、かつ平常点良</p> <p>C: 授業理解度 40%以上、かつ出席率 60%以上、かつ平常点可</p> <p>D: 授業理解度 40%未満、または出席率 60%未満、または平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

誰もが聞いたことのある「世界遺産」について詳しくなって、国内でも海外でも気に入った遺産を「旅行ネタ」にして是非訪れて見て下さい。